

学校給食事業の概要

1. 学校給食センターの概要

(1) 施設諸元

施設名	所在地	敷地面積	建物面積	建築年度
菅間学校 給食センター	菅間18番地9	9,908 m ²	5,700 m ²	平成 17 年
菅間第二学校 給食センター	菅間18番地1	13,154m ²	7,370 m ²	平成 29 年
今成学校 給食センター	今成2丁目 35 番地5	5,476 m ²	3,272 m ²	昭和44年 ※平成4年度改築

(2) 各学校給食センターの給食規模・給食数・対象校

(令和 3 年5月 1 日現在)

施設名	給食数	小中別	対象校
菅間学校給食センター (※給食規模:12,000食)	11,558食	小学校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・ 大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・ 南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・ 霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
菅間第二学校 給食センター (※給食規模:12,000食)	7,334食	小学校 12校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・ 福原・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・ 霞ヶ関西・川越西・名細
	4,855食	中学校 11校 特別支援学校 1校	初雁・城南・芳野・東・南古谷・高階・ 高階西・砂・寺尾・福原・山田・ 特別支援学校
今成学校給食センター (※給食規模:6,000食)	4,615食	中学校 11校	川越第一・富士見・野田・大東・大東西・ 霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・ 名細・鯨井
合計	28,362食	55校	

2. 学校給食食育事業

児童生徒が給食を通して、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、下記の食育を実施しています。

(1) 学校の年間計画に位置づけた小学校2年生対象の食に関する指導の実施 〈令和2年度実績〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、パワーポイントにより作成した映像資料を使用した指導を、各学校で実施した。

- 実施期間 令和2年11月～令和3年2月
- 対象者 全市立小学校(32校) 小学校2年生 2,911人
- 指導内容 食品の3つの働き、バランスのとれた食事の大切さ等

(2) 小学校5・6年生家庭科における授業の実施 〈令和2年度実績〉

- 実施回数 2回(学校からの依頼による)
- 実施内容 家庭科(調理実習含む)の指導

(3) 学校における各種「食に関する指導」の実施 〈令和2年度実績〉

- 実施回数 27回(学校からの依頼による)
- 実施内容 給食試食会の講演、学級活動や総合的な学習等における食に関する指導、給食指導など

(4) 小学校新1年生就学時検診及び入学説明会における「食に関する指導」の実施 〈令和2年度実績〉

- 実施回数 21回(学校からの依頼による)
- 実施内容 新1年生就学時検診及び入学説明会における保護者向けの「食に関する指導」

(5) 各種広報紙の発行 〈令和2年度実績〉

- 実施回数 年4回
- 実施内容 6・7・11・2月に給食だよりを発行(4月は学校休業のため発行せず)
- 発行部数 家庭数(約25,000枚)

(6) 夏休み料理教室の開催

〈令和2年度実績〉

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止とした。

(7) 食の探検隊の開催

〈令和2年度実績〉

- 県民の日が土曜日のため未実施とした。

(8) 学校給食の啓発普及

・健康まつりへの参加

〈令和2年度実績〉

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、健康まつりが中止となった。

・給食週間事業

〈令和2年度実績〉

- 実施期間 令和3年1月25日～29日
- 実施場所 川越市役所1階ロビー
- 実施内容 学校給食に関するパネル展示や資料配布等を行った。

3. 事業費

(1) 令和3年度予算額

【歳出】2,304,719,000円

うち「賄材料費」1,459,299,000円

(2) 令和2年度決算額

【歳出】2,165,367,637円

うち「賄材料費」1,310,204,868円

学校給食の歴史

年	出来事
昭和 22 年	連合国のララ物資により、川越第一小、川越小、中央小、泉小などで川越市の学校給食が開始。
昭和 27 年	霞ヶ関小学校などで給食が開始。この頃の給食は、主食を家庭から持参し、副食を提供する形態。
S 29	学校給食法公布
S 31	学校給食法改正：小学校のみから義務教育の学校（中学校）全体に拡大
昭和 33 年	4月に川越小学校で、11月に旧市内の残る小学校及び高階小、霞ヶ関小などが完全給食となる。
昭和 35 年	山田小、山田中で給食開始。市内全小学校が完全給食となる。市内全中学校で混合乳による給食が開始。（補食給食）
S 39	共同調理場の国庫補助制度開始
昭和 44 年	学校給食センターが今成に完成。市内全小中学校で完全給食が開始。「予定献立表」を各家庭に配布。
昭和 48 年	第二学校給食センターが寿町に完成。
S 51	学校給食に米飯が正式導入
昭和 51 年	12月から米飯給食を開始（月1回）。
昭和 52 年	第三学校給食センターが的場に完成。
昭和 56 年	第四学校給食センターが藤間に完成。
昭和 59 年	第五学校給食センターが吉田に完成。
平成 2 年	川越産の食材を使用開始。
平成 4 年	はし箱セットを配布。
平成 5 年	第一学校給食センターを改築。中学校強化磁器食器を使用開始。
H 8	全国的に病原性大腸菌 O-157 による食中毒が発生。国が「学校給食衛生管理基準」を策定。
平成 10 年	第三学校給食センターを廃止。学校給食センターの名称を変更。（第一→今成、第二→寿町、第四→藤間、第五→吉田）
平成 11 年	小学 2 年生に「食に関する指導」開始。
平成 13 年	9月から小学校給食センターでも強化磁器食器の導入開始。
平成 17 年	寿町学校給食センターを廃止。菅間学校給食センターが給食開始。
平成 29 年	藤間及び吉田学校給食センターを廃止。菅間第二学校給食センターが給食開始。
平成 30 年	アレルギー対応食の提供開始。青果の 1 次加工開始